

中央文化センター等複合施設（仮称）の整備に係るアンケート調査 結果概要

1 調査の目的

府中市では、府中市公共施設マネジメント推進プランに基づく取組として、老朽化が課題となる中央文化センター、保健センター、ふれあい会館及び生涯学習センターの学習機能について、複合化による施設の更新を進めることとしています。

現在、中央文化センター等の複合施設の整備に係る基本計画の策定に向け、複合施設の機能や民間活力の導入を含む事業手法等の検討を進めているところですが、このたび、施設の整備及び管理運営の知見を有する民間事業者の皆さまからご意見をうかがい、本事業の参考とするため、アンケート調査を実施いたしました。

2 調査のスケジュール及び回答状況

次のとおり調査を実施し、33社から回答を得ました。

日程	内容
令和8年1月29日（木）	アンケート調査の公表
令和8年1月29日（木）～2月13日（金）	アンケート調査票の配付期間
令和8年2月20日（金）	アンケート調査票の回答期限
令和8年4月	アンケート結果の概要の公表

3 主な意見

項目	意見概要
① 事業手法・事業範囲について	事業手法については、設計・建設から維持管理・運営までを一体的に発注する方式を評価する意見が多く見られた。 一方、長期事業に伴う物価上昇や人材不足等のリスクへの配慮、公共と民間の役割分担や責任分界の明確化を求める意見も挙げられた。
② 施設計画・導入機能について	複合施設であることを踏まえ、利用者属性や利用時間の異なる機能が共存できる計画、適切な動線計画やゾーニングの重要性が指摘された。 また、子ども・子育て世代から高齢者まで、多世代が利用・交流できる施設コンセプトの明確化や、管理・運営面にも配慮した計画を求める意見が見られた。 民間収益機能については、にぎわい創出や利便性向上の観点で有効であるが、採算性の確保を懸念する意見も見られた。
③ 段階的な事業の実施について	段階的な整備については、敷地条件や既存施設の稼働を踏まえ、施工計画や安全確保への十分な配慮が必要との指摘があった。 併せて、物価・人件費の上昇や建設人材不足を踏まえた事業条件設定の重要性を指摘する意見が多く挙げられた。
④ 本事業への関心	条件次第で参画を検討したいとする意見が多く、民間事業者から一定の関心が示された。